

〈学校評価を踏まえた学校評議員の意見と回答〉

■概況

- 1 自分に自信のない生徒が多いと感じる。次年度は自分の思いや考えが行動となっているか、また自信を持って行動しているか、生徒の中に自信を抱ける仕掛けや取組を進めてほしい。
→学校長が、卒業式の式辞でも「自ら考え、行動する」人になってほしいという願いを込め話をした。来年度に向けて、授業や部活動などの場で、一層生徒が主役となり、自信を付けられるような指導を目指したい
- 2 閉校に向けての準備を計画的にしてほしい。
→閉校に向けて、物品整理に取り組んでいる。閉校式等の行事については、検討を始めている。
- 3 学校評価は昨年度より良い結果となっている。
- 4 高校生のヘルメット着用についてはどのような見解を持っているか。
→強制はできないが、県から補助も出るので、これからも奨励していきたい。

■項目ごとの分析

項目3職員「授業やボランティア活動などを通じて、地域に貢献しようとする態度を身に付けるための活動ができていますか」

- ・参加する生徒の固定化により、保護者と生徒の意識の差が生まれている。
- ・学校としてやっているという意識が低い。

項目3保護者「学校は、授業やボランティア活動などを通じて、地域に貢献しようとする態度を身に付けるための活動ができていると思いますか」

- ・地域でよくやってくれている。ありがたく思っている。
- ・鬼迫いや募金活動など、肌で感じることのできるボランティアに参加することができてありがたい。

学校評議員より

- ・緑が丘駅前清掃などボランティア活動によく参加してくれている。
- ・地区の夏祭りにも参加してくれるので、高齢化が進む中で助かっている。

項目5職員「授業を通じて基礎・基本の学力を定着させ、家庭においても計画的に学習できるよう指導できていますか。」

- ・教員が生徒の家庭での結果をつかみ切れていないのではないか。生徒の実態に教師の意識が合致していないと思える。
- ・問いかけ方を工夫する必要があるのではないか。

- ・計画的な家庭での学習は個人差がある。
- ・授業で教えたことが生徒の力にはなっていない。進路実現においても不安である。

項目 5 保護者「学校は、授業を通じて基礎・基本の学力を定着させ、家庭においても計画的に学習できるよう指導できていると思いますか」

- ・家庭学習はしていなかったが、進路が決まってからの方がよく勉強した。

項目 1 3 職員「起床、就寝時間、三食をきちんととるなど規則的な生活習慣が身に付くよう指導できていますか」

- ・基礎基本をしっかりと固める必要がある。進路の実践につながる部分である。

項目 1 3 保護者「お子さまは、起床、就寝時間、三食をきちんととるなど規則的な生活習慣が身に付いていますか。」

- ・進路決定後に生活習慣が乱れた。
- ・部活動や学校生活を通じて規則的な生活習慣を身に付けることができた。
- ・Z世代のテーマであるが、スマホとの付き合い方等、自分を律する力が必要であると思う。